

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和6年7月19日(2024.7.19)

【公開番号】特開2022-51528(P2022-51528A)

【公開日】令和4年3月31日(2022.3.31)

【年通号数】公開公報(特許)2022-057

【出願番号】特願2021-146895(P2021-146895)

【国際特許分類】

A 61K 8/81(2006.01)

10

A 61K 8/02(2006.01)

A 61Q 19/00(2006.01)

A 61Q 1/00(2006.01)

A 61K 8/34(2006.01)

A 61K 8/35(2006.01)

A 61K 8/891(2006.01)

【F I】

A 61K 8/81

20

A 61K 8/02

A 61Q 19/00

A 61Q 1/00

A 61K 8/34

A 61K 8/35

A 61K 8/891

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月10日(2024.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次の成分(a)、(b)及び(c)：

(a)被膜形成能を有するポリマー、

(b)水、アルコール及びケトンから選ばれる1種又は2種以上の揮発性物質、

(c)(c1)25の表面張力が25mN/m以下である25で液体の油成分から選ばれる1種又は2種以上、を含む25で液体の油成分

を含有し、纖維形成組成物全体中の成分(c1)の含有量が9質量%以上25質量%以下であり、成分(c)に対する成分(c1)の含有質量比((c1)/(c))が0.6以上である組成物を、噴霧速度0.12mL/min以上2mL/min以下の条件の静電スプレーを用いて被膜形成対象物の表面に纖維を含む堆積物からなる被膜を形成する、被膜の製造方法。

【請求項2】

被膜形成対象物が、皮膚である請求項1記載の被膜の製造方法。

【請求項3】

次の成分(a)、(b)及び(c)：

(a)被膜形成能を有するポリマー、

(b)水、アルコール及びケトンから選ばれる1種又は2種以上の揮発性物質、

40

50

(c) (c1) 25 の表面張力が 25 mN / m 以下である 25 で液体の油成分から選ばれる 1 種又は 2 種以上、を含む 25 で液体の油成分を含有し、纖維形成組成物全体中の成分 (c1) の含有量が 9 質量 % 以上 25 質量 % 以下であり、成分 (c) に対する成分 (c1) の含有質量比 ((c1) / (c)) が 0.6 以上である、噴霧速度 0.12 mL / min 以上 2 mL / min 以下の条件の静電スプレーにより被膜形成対象物の表面に纖維を含む堆積物からなる被膜を形成するための纖維形成組成物。

【請求項 4】

被膜形成対象物が、皮膚である請求項 3 記載の纖維形成組成物。

【請求項 5】

成分 (c1) が、25 で液体のシリコーン油である請求項 3 記載の纖維形成組成物。

10

【請求項 6】

成分 (c1) が、25 で液体の揮発性シリコーン油である請求項 3 記載の纖維形成組成物。

【請求項 7】

成分 (a) の含有量が 4 質量 % 以上 35 質量 % 以下、成分 (b) の含有量が 45 質量 % 以上 95 質量 % 以下である請求項 3 記載の纖維形成組成物。

【請求項 8】

成分 (b) に対する成分 (a) の含有質量比 ((a) / (b)) が、0.03 以上 0.6 以下である請求項 3 記載の纖維形成組成物。

20

【請求項 9】

さらに、(d) ポリオールを含有する請求項 3 記載の纖維形成組成物。

【請求項 10】

(d) ポリオールの含有量が 10 質量 % 以下である請求項 3 記載の纖維形成組成物。

【請求項 11】

(a) 被膜形成能を有するポリマーが、部分鹼化ポリビニルアルコール、低鹼化ポリビニルアルコール、完全鹼化ポリビニルアルコール、ポリビニルブチラール樹脂、ポリウレタン樹脂、ポリメタクリル酸樹脂、オキサゾリン変性シリコーン、ポリビニルアセタールジエチルアミノアセテート、及びポリ乳酸からなる群より選択された少なくとも 1 種である、請求項 3 記載の纖維形成組成物。

30

40

50